



平成 21 年 12 月 10 日

各 位

## 株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号  
(コード番号：3727 東証マザーズ)  
代表者 代表取締役 郡山 龍  
問合せ先 執行役員(財務担当) 伊藤 洋  
電話番号 03-5286-8436

### 平成 21 年 12 月期 通期の業績予想修正並びに来期の見通し及び 人員削減等の事業体制のスリム化に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 13 日に公表した平成 21 年 12 月期 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日) 通期の業績予想を下記のとおり修正することいたしましたので、お知らせいたします。また、来期の見通し及び人員削減等の事業体制のスリム化に伴う特別損失の発生について併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 12 月期通期業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

##### (1) 連結

(単位：百万円)

|                               | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益<br>(△当期純損失) |
|-------------------------------|-------|--------|--------|-------------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 4,500 | 0      | 30     | 0                 |
| 今回修正予想 (B)                    | 3,537 | △1,086 | △1,171 | △1,603            |
| 増減額 (B-A)                     | △963  | △1,086 | △1,201 | △1,603            |
| 増減率 (%)                       | △21.4 | —      | —      | —                 |
| (ご参考)<br>前期実績 (平成 20 年 12 月期) | 5,195 | 276    | 281    | 109               |

##### (2) 単体

(単位：百万円)

|                               | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益<br>(△当期純損失) |
|-------------------------------|-------|--------|--------|-------------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 4,100 | 0      | 30     | 0                 |
| 今回修正予想 (B)                    | 3,207 | △1,184 | △1,307 | △1,665            |
| 増減額 (B-A)                     | △893  | △1,184 | △1,337 | △1,665            |
| 増減率 (%)                       | △21.8 | —      | —      | —                 |
| (ご参考)<br>前期実績 (平成 20 年 12 月期) | 4,913 | 224    | 188    | 3                 |

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。  
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。  
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

## 2. 業績予想修正の理由

通期の業績予想の達成に足る、幾つかの大きな金額の前払いロイヤリティ売上計上を当第4四半期中に計画しておりましたが、顧客およびサプライヤーとの契約条件が折り合わず、今期の売上として計上することを断念いたしました。なお、今回の見送りにより、当該案件が無くなるものではなく、来期に後払いロイヤリティとして計上されていきます。

本修正に伴い、当期の経営責任を明確にするために、代表取締役、執行役員、上級管理職等の一部報酬返上、及び収益性に深く関与している部門や管理職等の冬季賞与に関して厳しく処遇し、来期の収益性改善に向け管理体制の引き締めを行いました。

## 3. 来期の見通し（連結）

製品ラインアップの充実とエマージングマーケットを中心とした海外市場の立ち上がりにより、前述の後払いロイヤリティも含め、来期は対当期比約10億円増の約45億円の連結売上げを見込んでいます。

また、期首に行ったコストの高い欧州子会社の清算に続き、米国子会社の人員を約半分にする大幅な人員削減と、国内市場の縮小に合わせて国内要員を約1/4減らし、販管費の圧縮等により約3.5億円の営業利益を計画しています。

注：この連結売上見込みには、当社が株式公開買付け中の株式会社ジー・モードの業績見込みは含まれておりません。

来期の通期業績予想詳細につきましては、平成22年2月に開示を予定しております平成21年12月期決算短信に記載いたします。

## 4. 人員削減等の経営合理化について

米国子会社 Aplix Corporation of America の人員を約半分にする大幅な人員削減を行います。

対象人数：10名程度（平成21年9月30日時点の従業員数：20名）

退職日：平成22年1月31日まで（予定）

国内要員を減らすためのキャリア転進支援プログラム実施により、これに伴う人材紹介会社の転職支援サービス利用、退職一時金の支給等が発生する見込みです。

対象人数：40名程度（平成21年9月30日時点の従業員数：201名（海外オフィス従業員を含む））

募集期間：平成21年12月31日まで（予定）

## 5. 特別損失の発生について

上記4.の理由により、特別退職費用として特別損失約154百万円が発生する見込みです。

以上